

課題意識と具体的な手立て

優先順位	質問	ポイント	肯定:否定:わからない	具体的な手立て
1	家庭で、予習または復習など学習習慣が 付くような手立てをとっている。	28	 59% 30% 11%	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭学習ノートを毎日点検し、学習内容のアドバイスを継続していく。授業内でも、ワークなど、習ったところをすぐやるように声掛けをしていく。 ●テスト前の学習計画表点検をし、手助けする。 ●自分で勉強をしようと思える課題を、提示していくようにする。 ●授業開始時の小テスト実施などを工夫する。 ●生徒が自ら学びたくなるような授業デザインを研究する。
2	障がい者に関する国の政策や特別支援教育に関する啓発活動は、適切に行われている。	29	 35% 7% 54%	<ul style="list-style-type: none"> ●道徳の授業などで扱った内容を学級通信などで紹介していく。 ●学級だより、学年だより、学校だよりなどの紙面や保護者会などで生徒の活動の様子を発信する。特別支援級の生徒が交流学級で、他の生徒とともに活動し、成長している様子を伝える。 ●人権学習での学習内容やポスター掲示などの行っている内容を、HPや学校だよりで発信していく。
3	ユニバーサルデザインの視点から、授業や校内環境は整備されている。※ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいう。	30	 41% 11% 43%	<ul style="list-style-type: none"> ●UD(ユニバーサルデザイン)フォントの使用、日本語だけではなく外国籍の方向けに英語表記や表示にピクトグラムを使い、直感的に理解できるように工夫する。 ●文書関係は、UDフォントを使用する。 ●ユニバーサルデザインとは何かを生徒に伝えると共に、考えていくようにする。
4	必要な進路指導の情報が生徒や保護者に伝わっている。	36	 59% 23% 16%	<ul style="list-style-type: none"> ●進路だよりなどが確実に保護者に届くよう、おたより配付の際に指導をする。 ●進路情報をどの学年も、いつでも見れるように工夫する。 ●進路に関する情報を学年通信などに掲載する。
4	むつみ学級と他学級の相互理解や交流は、授業や行事の中で行われている。	36	 38% 2% 56%	<ul style="list-style-type: none"> ●HPや学校だよりで伝える。 ●授業参観などで朝、帰りの会も含め参観してもらう。 ●交流は授業や行事の中で行われているので引き続き行っていく。 ●学級だより、学年だよりなどの紙面や保護者会など、生徒の活動の様子を発信し、様子を伝えていく。